

## 第 41 期第 4 回理事会議事録

日 時：2020 年 10 月 5 日（月） 14 時 00 分～16 時 50 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議）

出席理事：佐藤薫，橋田俊彦，青柳暁典，池上雅明，植田宏昭，榎本 剛，小池 真，  
齋藤篤思，佐藤正樹，塩谷雅人，中村 尚，橋本明弘，早坂忠裕，平松信昭，  
堀之内 武，三好建正，渡部雅浩，以上 17 名（理事数現在 20 名）

出席監事：鈴木 靖，吉田 聡，以上 2 名

その他の出席者：勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）

### 議 題

#### 1. 協議事項

##### 1) 会員の新規加入等について

新入会 28，退会 40 を全会一致で承認した。2020 年 9 月 10 日現在，会員数 3,312 名で  
個人会員は 3,114 名。

##### 2) 第 41 期第 3 回理事会議事録の確認

全会一致で承認した。

#### 2. 報告事項

##### 1) 業務執行理事の報告

庶務担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

##### ・転載許可

申請者：株式会社化学同人 津留貴彰

転載元：天気，第 60 巻 1 号(2013)，二宮洸三：気象観測史的に見た気象官署における  
1985 年 2 月 11 日のオーロラ観測，21-24，第 1 図

転載先：日本に現れたオーロラの謎（2020 年 10 月 31 日発行予定）

##### ・後援名義等使用依頼受付

##### ①名称：原子力総合シンポジウム 2020

主催：日本学術会議総合工学委員会原子力安全に関する分科会

期日：2020 年 9 月 30 日

場所：オンライン開催

名義：共催

##### ②名称：第 5 回 WEATHER-EYE オープンフォーラム

主催：気象影響防御技術コンソーシアム

期日：2020 年 12 月 1 日

場所：オンライン開催

名義：後援

##### ・寄付者リスト（2020.7.25～2020.10.2）

荒川理会員

- ・2020年度秋季大会表彰式進行表の確認。

会計担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・2020年7、8月分の収支及び現預金検査報告。
- ・2020年度春季大会経費の決算報告が大会委員長から佐藤理事長へ提出された。
- ・補助金申請。

第7回気象学史研究会（2020年8月22日、オンライン開催）

- ・夏の学校の経理報告とともに会の概要報告が気象夏の学校校長から佐藤理事長へ提出された。

企画調整担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

- ・財政改善検討WGに参画し、財政状況の確認などを進めている。
- ・学会HPに歴代理事長と名誉会員名簿を掲載した。

## 2) 委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

- ・2020年度秋季大会の準備状況。事前参加申込期間を延長した。直前参加申込が技術的に可能か検討中。
- ・2021年度春季大会について、ハイブリッド開催の方向でウィズ/ポスト・コロナ時代の大会のあり方検討WGで検討中。
- ・日本地球惑星科学連合2021年大会における主催・共催セッションの応募状況について、共催2件の申込があった。

天気編集・・・以下の内容が報告された。

- ・Vol.67 No.8, 9, 10 (2020年8, 9, 10月)の掲載記事と、Vol. 67 No.11 (2020年11月)の予定記事の報告。
- ・「天気」冊子体の配布の見直しなどについて。

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

- ・気象集誌とSOLAの連携推進の観点から、相互のArticle Processing Charge (APC)減免措置が提案された。安定した独立採算運営のために、この件は時間をかけて議論することとして、継続の審議とした。
- ・松野賞受賞による掲載免除申請1件を受理。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された。

- ・論文の投稿・公開状況。
- ・2020年7～8月の掲載論文。

表彰関連・・・以下の内容が報告された。

- ・「松野賞」の受賞記念品について、アクリルトロフィーとする提案があり、理事会は全会一致で承認した。
- ・「松野賞」受賞者の気象集誌等への掲載免除について、財務改善検討WGの検討も踏まえて改めて議論することとした。

気象災害・・・以下の内容が報告された。

- ・顕著な気象災害の調査・研究や理解の促進を目的として、速報的に、日本気象学会が参加した研究会、各機関や個人が行った調査・研究の成果などにリンクした「気象災害特設ページ」（試行版）を9月15日に公開した。
- ・令和2年7月豪雨による災害に対する科研費（特別研究促進費）に会員が所属する研究機関などが参画して、気象場に関する研究を進めている。
- ・第10回防災学術連携シンポジウム（10月3日オンライン開催）にて、「気候変動と今年の気象災害」と題して、中村尚理事が講演と討論に参加した。
- ・第11回防災学術連携シンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから～58学会、防災学術連携体の活動～」(日本学術会議・防災学術連携体共催2021年1月14日開催予定)において、福島第一原子力発電所事故後の日本気象学会の活動を中心に発表と冊子への寄稿を準備している。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

- ・ジュニアセッションの2021年度の開催方針について、Zoomなどを活用して双方向性や発表的なものを確保したオンライン開催とする方向で検討中。
- ・夏季大学オンライン講義アンケート結果について、概ね好評であり、会員は2割程度で学会宣伝の良い機会である。また、今後のオンライン参加有料化にも抵抗は少ない。ただし集金方法は検討が必要である。

電子情報・・・以下の内容が報告された。

- ・秋季大会準備の支援を行っている。
- ・G Suite アカウントのリセット依頼が多数寄せられており、担当者を増員して対応する。

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された。

- ・委員会の活動内容を再定義した上で名称の変更を検討する。
- ・入会申込書の性別欄について、引き続き検討中。

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2020年11月10日

公益社団法人日本気象学会

理事長 佐藤 薫

監事 鈴木 靖